

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市子育てふれあいプラザ長町南
2 指定管理者	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ
3 指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 12,232人（前年度比20.8%） 内訳 ひろば利用者 11,234人 託児利用者 998人 ※視察等の利用者 414人 平成29年度 75,355人 平成30年度 73,471人 令和元年度 58,678人
	《事業》 子育てを行う市民に対する交流の場の提供、子育てに関する相談、情報提供等、子育てを総合的に支援する事業
5 収支の状況	《費用》 （ ）は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 25,489千円 (23,000千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
	《収入》 ・ 使用料収入 2,005千円 (4,117千円) ・ その他収入 25千円 (174千円)
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 意見箱「聞かせてBOX」の設置 ・ イベント開催時に、参加者に対してアンケートを実施

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	子育てふれあいプラザの設置目的に基づいた基本方針を策定し、掲示等により利用者に周知している。 利用者アンケートの満足度も総じて高く、子育てを総合的に支援し、子育てが安心してできるまちの実現に大きく貢献している。	21/21
II 施設の運営管理体制	各種マニュアルを整備し、事故や災害発生時にも迅速に対応できるよう体制が明確化されている。 個人情報保護や情報セキュリティ対策についても、ソフト・ハード両面について適切な取組がなされている。	29/29
III 施設・設備の維持管理	乳幼児が利用する施設として求められる安全性等を十分に理解した上で、遊具等が破損していないか、利用者が快適に利用できるかなど、館内の状況に常に配慮し、利用者が安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行っている。	19/19
IV サービスの質の向上	各イベント参加者へのアンケートの実施、利用者懇談会の開催や独自の意見箱の設置など、意見や要望等を積極的に取り入れ、利用者の視点に立ったサービスの提供を心掛けている。 職員間においても、業務ごとのマニュアルを整備し、日々のミーティング等で情報共有を図るなど、サービスの質の向上に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	子育てふれあいプラザの設置目的と役割を十分に理解し、利用者のニーズを的確に把握しながら、乳幼児親子の交流の場の提供（ひろば事業）や一時預かり事業、子育てに関する情報収集、提供事業などを適切に実施している。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人 ワーカーズコープ）による自己評価》
<p>今年度は誰も経験したことない状況への対策で手探りの日々でした。毎日の清掃消毒は、いつもとは違った緊張感の中で行わなくてはいけませんでした。休館後すぐに、商業施設に協力を依頼して、通路の情報コーナーを増設、乳幼児を対象に手作りのお土産を置き、保護者向けにおうち時間に役立つような遊びのヒントを置くなどし、可能な支援を続けてきました。また3階の授乳室に利用者支援の案内ポスターを掲示させてもらい、地域巡回をしたときには、乳幼児親子に声をかけながら電話相談も受け付けている旨の案内をしました。</p> <p>運営再開後は、利用者と自粛中にどんな過ごし方をしていたか、困っていたことや楽しかったことなどを話し、聞いたことを記録に残しました。その後の支援や、また同じような休館が繰り返された時に役立てられるよう職員会議で共有しました。</p> <p>利用者のニーズに合わせて徐々にイベントを増やすなど、新型コロナウイルス感染症の対策と利用者目線での運営を両立することができました。例年開催していたハロウィンイベントや、クリスマス会は規模を縮小して開催しました。のびすく職員が児童館に向向く「出前！のびすく」も再開でき、近隣児童館との交流を持つことができました。中止になった地域のお祭りに代わって、館内でお祭りを開催した際には、鹿野民児協の方々にご協力いただき、模擬屋台を設置してお祭り気分を演出しました。利用者からは、子どもに甚平を着せることができた喜びや、家族でお祭りに参加できたことへの感謝の声が聞かれ、当たり前だった日常が如何に大切だったかを再認識しました。このような出来事から、のびすくが必要とされている場所だということを改めて感じることができ、私たちも感謝の気持ちを新たにしました。</p> <p>今後も感染症対策を続けながらの運営となります。コロナ禍で希薄になってしまった地域との連携も、少しずつ元に戻していきたいと考えています。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>ひろば事業では、乳幼児親子の様子や遊具等の状態などに常に気を配り、利用者がより安全かつ快適に過ごせる環境づくりに努めていることに加え、利用者ニーズに合わせてイベントを企画・実施することなどで、高い利用者満足度と安定した継続利用に繋がっている。</p> <p>また、独自の取組として、不要になった未使用の育児用品等を必要な方につなぐ「はーとバンク」を実施し、利用者から好評を得ている。</p> <p>加えて、太白区家庭健康課等と協力して「太白区子育てネットワーク」の事務局を担い、企画・運営にあたったほか、「ホッとinとみぎわ」の運営会議に参加し、コロナ禍で活動が制限される中ではあったものの、子育て支援団体間の情報交換を行うなど、地域連携にも積極的に取り組んでいる。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館となった際には、近隣の公園や施設周辺に積極的に出向き、チラシを配るなどして乳幼児親子へ子育て支援情報等の周知を図った。また、地域のお祭りが全て中止になる中、親子の思い出になるものをという思いから、地区の民生委員児童委員の協力のもと、施設内でお祭りを模したイベントを開くなど、コロナ禍の中でできるイベントの工夫、実施に積極的に取り組んだ。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部総務課